

第2期山鹿市総合戦略の検証結果について(令和5年度)

事業名	主な事業内容	指標 (K P I)重要業績評価指標	地方創生への効果/その理由	今後の方針/その理由
<u>地域に根差し、未来を担う企業の振興</u>	■ 地元企業、高等学校等及び行政が連携した企業ガイダンスの実施 ■ 小学生・中学生を対象とした企業見学会の実施	高校新卒就職者のうち、地元企業への就職者の割合(%) (目標値) ⇒ (実績値) 19.0 17.3	➤ <u>相当程度効果的であった</u> 前年度に比べ全体の高校新卒就職者数は増加したが、地元企業への就職者数が横ばいであったため、相対的にK P Iが2ポイント低下した。県内の高卒就職率が23%程度のなか山鹿市は30%以上と就職者の比率が高いため、引き続き地元企業の魅力をP Rし、就職先の選択肢として定着するよう努めている。	➤ <u>取組追加等でさらに発展</u> より多くの企業や学生の参加を促すため、令和6年度から和水町との定住自立圏協定により玉名圏域の高校にも対象を拡大し、内容の見直しを図りながら双方に魅力ある事業へと拡充させていく。そのことにより、企業及び学校の連携が図られ、人材確保や人材定着につながり定住人口の増加に寄与する。
<u>新規就農総合支援事業</u>	■ 農業次世代人材育成事業の活用や地域農林業担い手育成支援事業等の支援による就農時の経済的負担軽減に向けた補助の実施 ■ 新規就農に関するサポートチームによる巡回指導及び農地等の提供のために導入した現地調査用タブレット活用等によるサポート体制の支援	A: 新規就農者数(延べ数R1~)(人) B: 農業研修施設研修受講者数(人) (目標値) ⇒ (実績値) A: 41 67 B: 6 4	➤ <u>非常に効果的であった</u> 新規就農者については、サポート体制の強化等により目標値の41名に対し67名の実績であり5年間の目標値である50人を既に達成しており大きな成果が得られている。研修施設研修受講者についても、J A 鹿本地域担い手育成センターにおいて昨年度同様の4名が研修を修了し、概ね成果が得られた。	➤ <u>取組追加等でさらに発展</u> コロナ禍の終息や物価高騰の影響に伴い、新規就農の希望者が減少傾向に転じており、担い手育成総合支援協議会を通じ、新規就農者や研修生を確保するための周知や啓発及び就農後のフォローアップの強化などサポート体制の充実を図る。
<u>ふるさと未来創造プロジェクト(稼ぐ観光地再生)</u>	■ 県北4市町と県が連携し、台湾へのトップセールスの実施 ■ 各地の温泉とキャンプ場をあわせた「温キャン」のPR ■ 菊池川日本遺産事業におけるカレンダーの販売 ■ 旅する人が会いたくなる「やまがびと」の配布。 ■ e-スポーツによる教育・福祉・観光等で意見交換や情報共有、認知度向上	A: 日帰り客数(千人) B: 宿泊客数(千人) (目標値) ⇒ (実績値) A: 4,841 2,892 B: 396 211	➤ <u>相当程度効果的であった</u> 日帰り客は前年と比較して若干増加したが、宿泊客数については、全国旅行支援の縮小や物価高による宿泊料金高騰などの影響もあり、前年を下回った。台湾や韓国、香港でのプロモーションを近隣の自治体と連携して取り組んだ成果も着実に表れており、インバウンド客も増加してきている。また、SNSなどを活用して福岡を中心にショート動画の配信を行い、その効果もあり福岡都市圏からの若い世代が豊前街道の散策や郊外のカフェなど訪れるなど効果も現れてきている。目標値に達してはいないがコロナ禍前の入込数に近づいてきている。	➤ <u>取組追加等でさらに発展</u> 台湾、韓国、香港の個人旅行者及びTSMC関係者をターゲットに設定し、KOL(購買意欲に影響を与える人物)の招請など実施する。また、台湾の最大の旅行博に出展するなど現地でのプロモーション活動も実施する。 e-スポーツ事業の関係団体や規模が拡大したため、教育・福祉・観光での取組を発展させながら、主に市外在住者に対する関係・交流人口の拡大を狙う。また、福岡県からの日帰り圏内でもあることから、季節ごとの食フェア(たけんこ街道・マロンフェスタ)や、日帰り温泉などをPRし、日帰り客の増加を図る。また、宿泊客も利用しやすい交通アクセス整備を支援していく。
<u>観光戦略プロモーション(福岡ターゲット構想)</u>	■ 福岡県在住の20~30代の女性及びファミリー層をターゲットにショート動画を6本作成しSNSを中心に情報発信を実施 ■ 宿泊客増加を図るために福岡県をメインターゲットにシティ情報誌等を使ったプロモーション活動を実施			
<u>豊前街道の歴史的まちなみ再生プロジェクト</u>	■ 豊前街道沿いの空き家・空き店舗の改修費用の補助実施 ■ 創業・開業に対する家賃補助の実施	A: 改修した空き家・空き店舗で開業した事業所数(件) B: 改修した空き家・空き店舗で開業した事業所の利用者数(延べ人数) (目標値) ⇒ (実績値) A: 3 1 B: 98,000 237,873	➤ <u>非常に効果的であった</u> 豊前街道を対象とした空き家・空き店舗改修補助により1軒の店舗が新規開業した。また、これまでに豊前街道歴史的まちなみ再生事業で21店舗が新規開業し、豊前街道沿いの空き家の数は減少している。 さらに、市内商工団体の支援を受けて新たに創業または開業する方を支援する新規事業を開始した。	➤ <u>計画通りに継続</u> 関連事業を活用できる空き家等の物件が残存しているため、当該事業の継続を図ることによって、さらに賑わい創出と魅力あるまちなみ形成を図っていく。